

- **児童生徒一人一人の発話内容等を可視化**することにより、的確な評価につなげ、教員の指導改善に生かす。
- **従来の発想にとらわれないグループの組み合わせ**がシステムから提案される場合は、教員の新たな知見・気づきにつながる。
- **児童生徒に、授業中の発話内容、発話量等のデータをフィードバック**することで児童生徒自身に気づきを与え、主体的な学びに繋げる。

活用した先端技術

- 音声データの解析・可視化機能：児童生徒ごと、グループごと、クラス全体の発話量や内容等を確認できる。
- AI分析：グループ人数やパラメータ等をインプットすると、システムが最適と判断したグループを自動生成できる。

児童生徒



僕はこうやって話しているのか
次はもう少し工夫してみよう

教員



グループ内のA君が全く発言してないな
声かけしてみよう

授業分析画面（個人）



授業分析画面（グループ別）



【グループ編成システムの活用】

